

2026.2.12 救急医療特別研修会
名古屋

2027年 日赤150周年、名整会100周年
2026年 八事日赤112周年
八事整形外科27年、八事日赤整形外科56周年

八事地域で取り組むロコモ予防

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院(八事日赤)
整形外科・脊椎脊髄外科・リハビリテーション科

八事整形 発起人

佐藤 公治

1

1999日赤の部長へ、災害医療に目覚める

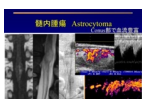
- ・40歳で赤十字病院に整形外科部長として赴任
- ・**頸椎、胸椎、腰椎**の前方(腹側)と後方(背側)アプローチのいわゆるオープン
の脊椎手術や外傷治療ができることは災害医療に役立った Cf.脳外科
- ・無線の知識も災害救護に役立った。



2

専門 脊椎・脊髄手術 低侵襲手術

- ・名大整形講師
- ・脊椎班チーフ
- ・どんな手術もできと思っていたら
- ・MISの時代がやってきた
- ・日本で当時約100人の脊椎内視鏡技術認定医
- ・日本MIST研究会の立ち上げ
- ・初代代表
- ・国際MISへ
- ・いろいろな学会の評議員



Precursor 先駆者
佐藤 公治

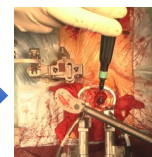
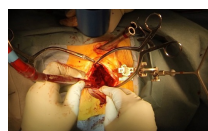


3

MIST(脊椎低侵襲治療;ミスト)とは、 Minimally Invasive Spine Treatment

- ・MISTの利点
 - ・回復が早い
 - ・痛みが少ない
 - ・入院期間が短い
 - ・合併症のリスクが低い

社会復帰の早期化とQOL向上



4

MISTは高齢者の最適治療

- ・腰部脊柱管狭窄症
 - ・除圧 内視鏡、MILD、UBE、
 - ・除圧固定 MIS-PLIF/TLIF、C-cage
 - ・矯正 LIF(XLIF,OLIF)+PPS、
 - ・癒着剥離 TSCP(経仙骨脊柱管形成術)
- ・骨粗鬆症、脆弱性椎体骨折
 - ・椎体形成、骨セメント
 - ・セメント補強PS
- ・慢性痛
 - ・オピオイド、プレガバリン
 - ・神経根ブロック
 - ・脊髄刺激



演者作成スライド

5

MISTは健康寿命の延伸に寄与する

- ・治療する事でQOLの改善
 - ・腰痛下肢痛、痛みの改善
 - ・ロコモ予防は認知症予防にも影響
- ・歩行能力や外出行動の改善
 - ・運動習慣、貯筋
 - ・何歳でも体力は付く
- ・気持ちが変わる、意欲
 - ・ロコモサイコソマ
 - ・いつまでも人生を楽しめる
- ・仕事ができる、働ける

みんな早く治りたい

間欠性跛行の改善
「歩ける」は重要

手術は大げさ、大変
昔は80歳で全身麻酔手術あきらめ
家族も「やめよう」だった

演者作成スライド

6

健康寿命を延伸するために 脊椎治療の低侵襲化を目指す

Medical Note MIST (ミスト) 低侵襲椎間孔ヘルニア手術


- 高齢化社会
 - 低侵襲治療MISTが望まれる。
 - 80歳以上の全麻Op可能。
- 「背骨の手術をしたら寝たきり」
 - 脊椎の手術が進歩
 - MISTの発展
- ロコモ予防
 - いままで自分で動きたい、健康寿命

メディカルノート取材記事
https://medicalnote.jp/contents/170403-003-0

7

地域でのロコモ予防

- 1999 名二日赤 整形統括部長として赴任
- 2000 八事整形会と八事整形医療連携会 設立
 - 2011 NPO化 名古屋整形外科地域医療連携支援センター
- 2009 日本MIST(最小侵襲脊椎安定術) 設立
- 2012 名二日赤 副院長 医療安全
- 2012 日赤整形部長会 All Japan
- 2014 名二日赤 副院長 経営、手術室
- 2018 名二日赤 院長 地域の医療経営



演者作成スライド

8

地域医療連携 やこと 八事整形

名古屋整形外科地域医療連携支援センター

- 1999年 八事整形会(大学から八事日赤へ)
- 2002年 八事整形医療連携会発足
- 2003年 連携バス作製、施行
- 2006年 診療報酬に収載
- 2009年 名古屋6病院がまとまる
 - 名古屋整形外科医療連携会
- 2009年 院内連携バス委員会
- 2010年 ホームページの立ち上げ
- 2010年 八事整形救急連携
- 2010年 昭和区災害訓練
- 2011年 NPO立ち上げ

演者作成スライド

9

八事整形会 since 1999

- 医師の情報共有の場
- 症例検討会と勉強会
- 専門医の単位取得講演会
 - 一日整会、リハビリ、医師会
- 3ヶ月おき、年四回
- 水か木曜の夜
- 八事近隣のホテル
- 世話人30名
- 参加50-100人
- NPO/メーカー 共催

情報交換会!

第100回八事整形会(記念大会)

【開催地】
ナゴヤドーム地下鉄駅より徒歩10分

2024.12.5(木) 18:30~20:00

会場
ホテルメルパルク名古屋 10F 1001室

基調講演 18:30-19:00

座長
社会福祉法人 聖徳会 理事長 副院長 安藤 智洋 先生

『八事整形会・八事整形医療連携会の足跡
～骨粗鬆症に対する25年の取り組み～』

特別講演 19:00-20:00

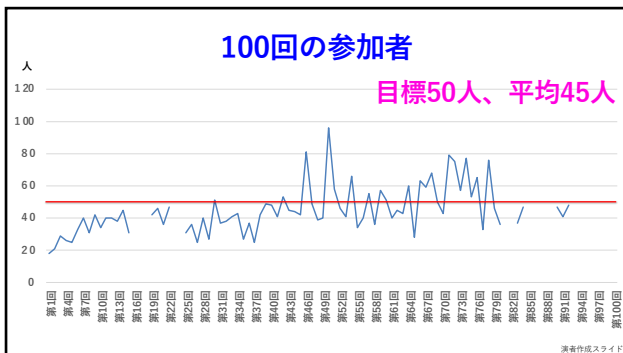
座長
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 整形外科 部長 佐藤 公治 先生

『骨粗鬆症update
～小児から高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折まで～』

名古屋大学大学院医学部 整形外科 教授 佐藤 公治 先生

演者作成スライド

10



11

八事整形医療連携会 since 2002

- 運動器疾患に携わる医療従事者の会
- 運動器疾患の勉強会
- 医療の標準化
 - Drは研究会や医師会など何かと会う機会が多い
- 施設紹介
 - 横のつながり
- 半年おき、年2回研究会
 - 役員30名、役員会を前後日に開催
- 一時は参加200名超え

意見交換会!

事務局 名古屋第二病院、リハ課 細江 幹事 名二病院、寺本クリニック、木村病院、加藤 聖病院、上飯田リハ、熱田リハ、東名古屋、ライオン

第58回八事整形医療連携会

治療の継続と再発予防を支える多職種連携の役割
一斉開催 マネージャーと産科医との連携

2025年10月23日(木) 18:30-20:10

会場 マリエール山手 2F 山手ホール

形式 マネージャーと産科医との連携

＜開催の経緯＞18:30-18:45 (開場)

＜講演＞18:45-19:00 (開演)

＜講演＞19:00-19:15 (質疑)

＜講演＞19:15-19:30 (質疑)

＜講演＞19:30-19:45 (質疑)

＜講演＞19:45-20:00 (質疑)

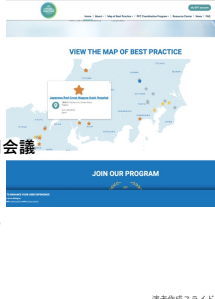
＜講演＞20:00-20:10 (質疑)

演者作成スライド

12

大腿骨頸部骨折地域連携パス

- ・ 2003 八事整形医療連携会で作成
 - － コアメンバー施設で試行
- ・ 2006 診療報酬に掲載
 - － すぐに予防指導箋「転倒予防・骨粗鬆症予防」
- ・ 2007 ロコモチャレンジ、日整会
- ・ 2009 名古屋大腿骨頸部骨折連携パス拡大合同会議
- ・ 2014 骨粗鬆症マネージャーの育成
 - － OLS、FLS
- ・ 2015 頸部骨折ガイドライン第3版に関与
- ・ 2022 診療報酬にFLSに掲載された



津事物語ヲ見ユド

13

治療+二次骨折予防(FLS)

phase	急性期	回復期	生活期・維持期
診断	いかに早く診断治療するか		
治療・薬剤			
リハビリ	頸部骨折は緊急手術		
社会保障			
家族			
	救急病院	リハビリ病院	在宅、施設
	医療保険		介護保険
期間	およそ二週間	3ヶ月以内	それ以後
	骨粗・転倒予防 栄養指導	地域連携パスに予防を付加	

2. 19 加

14

患者さん用パス

[illegible]

活用しましょう。
演義作成スライド

15



16

地域のリエゾンロコモ予防,地域でのチーム医療

- ・2003 八事整形医療連携会で作成
 - ・コメンバ施設で試行
- ・2006 診療報酬に掲載
 - ・すにすに予防指導室「転倒予防・骨粗鬆症予防」
- ・2007 ロコモチャレンジ、日整会
- ・2009 名古屋大腿骨頸部骨折連携パス拡大
- ・2011 NPO立ち上げ
- ・2014 骨粗鬆症マネージャーの育成
 - ・OLS、FLS
- ・2015 診療報酬骨骨折ガイドライン第3版に関連
- ・2022 診療報酬にFLSが掲載された

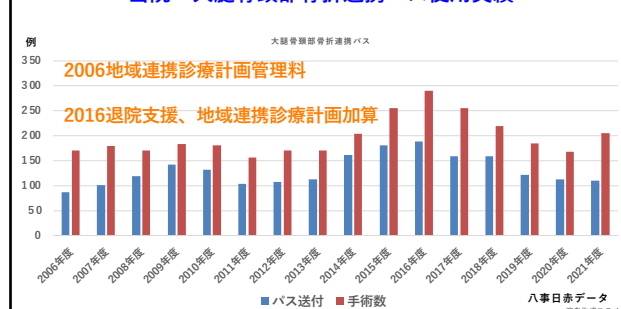


FFNJに参加、発表

2026.3月 FFNJ名古屋 佐藤主宰

17

当院 大腿骨頸部骨折連携パス使用実績



八事日赤データ

18


	急性期 病院	回復期 病院	維持期 病院	術後3～ 4ヶ月	術後半年	術後1年
医師						
看護師						
理学療法士						
管理栄養士						

二次性骨折予防地域連携パスシート作成
骨粗鬆症予防だけでなく
ロコモ予防(フレイル、サルコペニアを含む)

19

特定非営利活動法人（NPO法人）
名古屋整形外科地域医療連携支援センター
2011年・YouTube 検索 八事ロコモ音頭

行政、企業（寄付金）との窓口
パンフレット、ホームページ作成
八事整形会支援
八事整形医療連携会支援
市民公開講座支援
関連施設勉強会支援
指導スタッフ育成

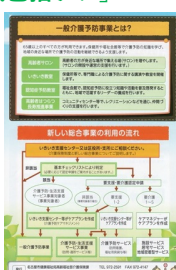


八事ロコモ音頭Mix Ver1
132 回視聴 12 評価

20

地域でのリエゾンロコモ予防
「運動器疾患の地域包括ケア」

- 地域連携パスに予防や啓発も含める
 - 患者と家族
- 指導スタッフの育成
 - 関連施設への出張講義
 - OLSマネージャーの育成
- 市民公開講座
 - 一般市民
- 総合事業などへの協力
 - 保健所や事業所の健康教室講師



21


ロコモ予防マニュアル v4.1

- 病棟で講習会
 - 患者さん向け
 - 整形病棟デイルーム
 - 2週間に一度、金曜日午後5時
 - 看護師とリハビリスタッフ交互
- パンフレットを作製
 - 同じ指導内容、予防の標準化
 - 地域連携施設で共通利用
- 市民公開講座に利用

まずは急性期病院で

メインキャラクター
ころばないぞう
「転場無償」さん

山本整形看護師のオリジナルイラスト

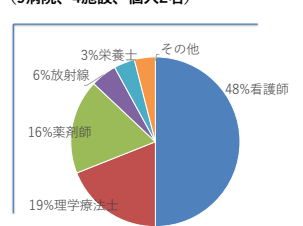


22

八事整形医療連携会のOLSチーム

- 骨粗鬆症学会認定医 11名
- 骨粗鬆症マネージャー 26名 (9病院、4施設、個人2名)
 - 看護師 9
 - 理学療法士 8
 - 薬剤師 5
 - 診療放射線技士 1
 - 管理栄養士 2
 - ケアマネージャー 1

知識の整理
だれでもこれくらいは話せるように



2023.4 現在の骨粗鬆症学会での比率

愛知県 認定医96名
マネージャー171/全国3928名

23

ロコモ予防外来
2018年～

いつでも・どこでも・だれでも
ロコモ予防外来

- 運動器疾患を有する患者
- 健康寿命延伸
(ロコモ・サルコペニア・フレイル・骨粗鬆症・転倒)
- 内容
 - X線検査、骨塩定量検査
 - 血液検査
 - 服薬・栄養評価および指導
 - 理学検査
 - 個別運動および/または指導
- 頻度
 - 当院
 - 連携施設

「地域で転倒や骨粗鬆症を防ごう」マニュアル

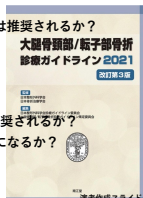


24

大腿骨頸部/転子部骨折診療ガイドライン

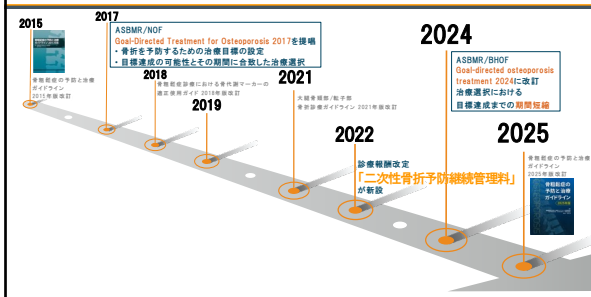
改訂第3版 2021

- 第9章 リハビリテーション医療
 - Clinical Question 11 入院中の多職種連携によるリハビリテーション (multidisciplinary rehabilitation) は推奨されるか？
 - Clinical Question 12 急性期施設退院後のリハビリテーション継続は推奨されるか？
 - 解説1 地域連携パスの経緯と現状
 - 解説2 多職種によるリハビリテーション医療の意義
- 第10章 退院後の管理
 - Clinical Question 13 大腿骨頸部/転子部骨折後の二次骨折予防は推奨されるか？
 - Clinical Question 14 骨吸収抑制薬の術後早期投与は骨癒合の障害になるか？
 - 解説1 骨折リエンササービス (FLS)



25

2015年以降の骨粗鬆症治療に関する出来事



26

骨粗鬆症の予防と治療 ガイドライン

スライド集

2025年版

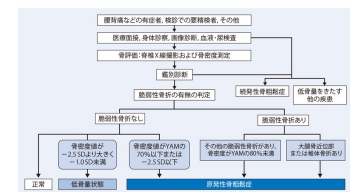
編纂

骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会
(日本骨粗鬆症学会 日本骨代謝学会 骨粗鬆症財団)

委員長 折茂 肇

27

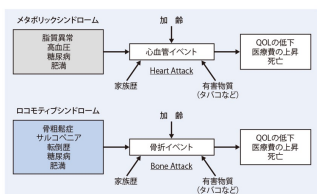
図2-1 原発性骨粗鬆症の診断手



本誌掲載の図表と論議の要約を掲載する。掲載料は無料。

28

図3-1 メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの要因と終末



J Bone Miner Res 2017; 32: 1361-4. 2. 引例
©2017 American Society for Bone and Mineral Research.
Reproduced by permission of Oxford University Press.

企業経営者の実践と決断ガイドライン作成委員会2009

©2017 American Society for Bone and Mineral Research.
Reproduced by permission of Oxford University Press.

29

CQ(クリニカルクエスチョン)と推奨文

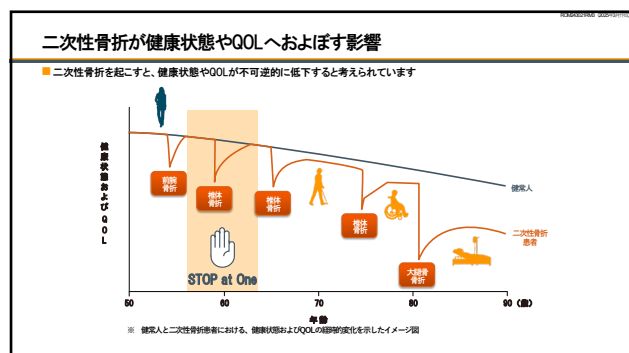
CQ1 骨粗鬆症患者の予後改善に、骨折予防は推奨されるか？

- ▶ 骨粗鬆症患者の予後改善に、骨折予防を実施することを推奨する。

骨粗鬆症による脆弱性骨折の発生は、QOLの悪化とADLの低下と合併症をもたらし、健康寿命延伸の大きな妨げとなっている。骨粗鬆症の臨床的イベントは脆弱性骨折であるため、骨粗鬆症治療を実施し、脆弱性骨折を予防することがQOL維持、健康寿命の延伸につながることで期待される。

● 本書は、2007年10月1日現在、日本に在籍する外国人の住民票を調査した結果に基づいて作成されたものである。

30



31



32

CQ(クリニカルエクステンション)と提言文

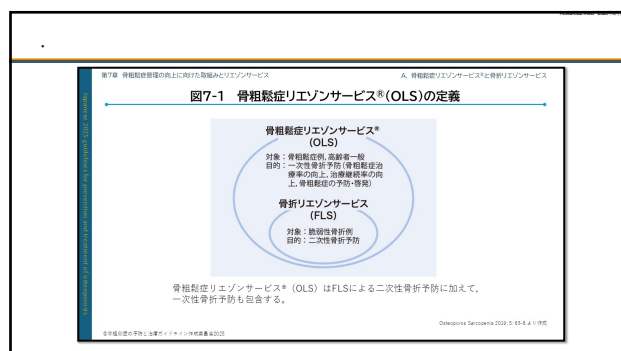
CQ 40 骨粗鬆症患者の再骨折予防にFLSの介入は推奨されるか？

▶骨粗鬆症患者の再骨折予防にFLSの介入を実施することを推奨する。
 合意率 75.0% エビデンスの強さ B

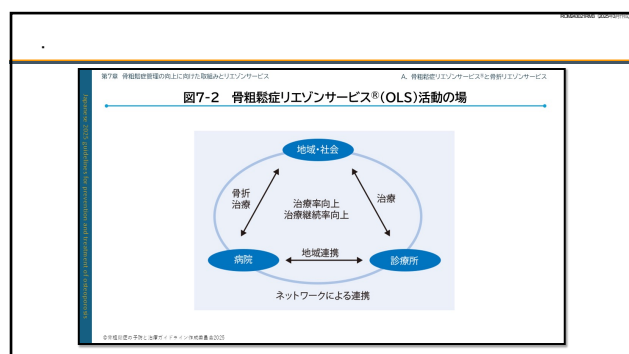
FLS介入はRCTによる検証が少なく、研究デザインや介入方法のばらつきにより種々のバイアスリスクを除外することが困難であり、エビデンスレベルは低い。しかしながら、リアルワールドデータにより骨折率の低下が多く報告されていることに加え、有害事象の報告もなく費用対効果が高いため、再骨折（二次性骨折）予防に効果的な取り組みであると考えられる。

※骨粗鬆症の予防・治療ガイドライン作成委員会より作成

33



34



35

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2025年版」における骨粗鬆症治療の目標

■骨密度のTスコアが-2.5以下で治療を開始した場合は、Tスコアが-2.5を超すことを治療ゴールとすることが示されました

第5章 骨粗鬆症の薬物治療 B. 薬物治療の目標と継続・変更・休薬
 表5-1 米国家骨代謝学会と米骨粗鬆症財団を中心とするワーキンググループによる骨粗鬆症の治療目標に関する増え方^{*)}

患者のゴールを設定する
●治療開始理由が骨密度でTスコア-2.5SD以下の場合は、Tスコアが-2.5SDを超すことをゴールとする。
●骨密度測定部位について、骨折リスク低下と関連が示されているのは大腿骨頸部（ピスホスホネート薬）と全大腿骨近位部（デノスマブ）の骨密度であるが、腰骨もテリパラチドでは考慮してもよいかもしれない。
●治療開始理由がFRAX [®] による絶対骨折危険率の介入閾値以上の場合は、絶対骨折危険率が介入閾値未満となることをゴールとするが、現時点で臨床診療上適当とはいえない。
ゴール達成に向けた初期治療選択
●最近骨折した患者に対しては、骨折リスクを急速に低減できる薬物を選択することが望ましい。
●骨密度がTスコア-2.5SD以下の患者に対しては、骨密度上昇効果の高い薬物を選択すべきであり、治療開始から3～5年*でゴールを達成できる可能性が少なくとも50%となるような治療を選択することが望ましい。

※: position statement 2021年版で3年と記載された

*)骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会、骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2025年版、p155, 2025

36

CQ(クリニカルエビデンス)と推奨文

CQ3 骨粗鬆症患者の骨折予防に運動療法は推奨されるか？

▶ 骨粗鬆症患者の骨折予防に運動療法を実施することを提案する。
合意率 100% **エビデンスの強さ B**

運動療法は栄養療法とともに、骨粗鬆症の治療戦略の柱として重要である。
 日常診療においては、年齢、活動性、転倒リスク、骨粗鬆症の重症度、運動の阻害因子（変形性関節症、その他の運動器疾患、内科的疾患）などを考慮に入れて、運動処方を検討する。

© 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会2025

37

40年前、自分が研修医の頃

- Colles骨折の患者にVit.Dを処方したら叱られた
 – 確かに骨折に適応は無いが、今なら**FLS**
- 余談 癌患者にリハビリの指示を書いたら怒られた
 – 今や、**がんロコモ**

医学は日進月歩
 自院完結型から地域で医療、面でカバー、地域連携は当たり前
 昔の方が良いチーム医療をしていた？ 看護師さんの点滴

演者作成スライド

38

今のキーワード

- 地域連携
- 多職種連携

地域でのチーム医療

大腿骨近位部骨折地域連携パスに
 転倒予防と骨粗鬆症予防を組み合わせ
 地域の**リエゾンロコモ予防**を啓発

骨折リエゾンサービス
 (Fracture Liaison Service; FLS)

演者作成スライド

39

地域連携会の継続・発展のコツ

- 常に新しいことにチャレンジ、事業拡大
 – リーダーシップ、情熱(パッション)
- 世話人のコミュニケーション
 – 全体会年2回の間に世話人会、都合年3回
 – 飲コミュニケーション
 – メーリングリスト、LINE、
- いい仲間を集める
 – お互いリスペクト、信頼、
 – タレント、皆 話好き

課題
世代交代

演者作成スライド

40

Do Challenge!

第13回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会(FFNJ) in 名古屋

- 2026年2月27日-28日 <https://ffn.or.jp/>
- ウインク愛知(名古屋駅近く) 日本脆弱性骨折ネットワーク
- テーマ 健康寿命の延伸でSDGs
 – 真のFLSチームビルディングで脆弱骨折ゼロ

事前登録受付中

QRコード

演者作成スライド

41

**地域で二次骨折予防・転倒予防・骨粗鬆予防
 リエゾンロコモ予防**

- 地域での継続的なチーム医療
- 二次骨折予防の肝はかかりつけ医
 – 地域でのチームビルディング
- いつでもロコモ、どこでもロコモ、だれでもロコモ

この書き込みを聞いていただき、ロコモを予防・改善・治療するための「地域で骨粗鬆症による骨折を減らしましょう」

骨折予防・骨粗鬆症予防 チーム代表(右端 無職)

ロコモ予防や脆弱性骨折の二次骨折予防(FLS)が健康寿命の延伸、引いてはSDGsへ

NPO名古屋整形外科地域医療連携支援センター
<http://norh.umin.jp>

演者作成スライド

42

いつでも、どこでも、だれでもロコモ予防

STAY HOME 座ってできる Let's Stretch 
<https://youtu.be/64aPfBtw9fE>

八事ロコモ音頭ver.1 
<https://youtu.be/e9EZWJegbqA>

特定非営利活動法人(NPO)
名古屋整形外科地域医療連携支援センター 
<http://norh.umin.jp/>

演者作成スライド

43